

平成25年度 南魚沼郡市学校保健部 活動報告

部長 桑原 秀幸

1 研究主題

(1) 研究主題 「児童生徒の健康管理能力の育成」

(2) 主題設定の理由

生活習慣の乱れ、いじめや不登校などの心の健康問題、アレルギー疾患、性に関する問題など児童生徒の健康問題は複雑・多様化している。そこで、児童生徒一人一人が生涯を通して主体的に健康な生活を送ることができるよう「健康管理能力」を育成することをめざし、養護教諭の専門性を活かした支援の在り方について研究を深めた。

2 研究の概要

(1) 第1回研修会（高等学校養教も参加） 6月20日 会場：南魚沼市婦人会館

①全体研修：県養研推進委員会の報告 ②グループ研修：共通テーマと研修計画の立案

(2) 第2回研修会（小・中校種別研修） 8月1日 会場：南魚沼市婦人会館

①不定愁訴 ②むし歯・歯肉炎 ③生活習慣 ④けが・病気の4グループごとに研修

(3) 中学校研究部会 8月20日(火) 会場：城内中学校 性教育指導計画の作成と共通理解

(4) 第3回研修会（高等学校養教も参加） 11月15日 会場：市役所大和庁舎

①講演会「小児心身症外来を通して」

講師 ゆきぐに大和病院 小児科医 五十嵐幸絵 様

②郡市よい歯の学校表彰

③グループ研修 ア.各校、現段階の取組状況と課題 イ.支部研修の成果と課題

(5) 授業研修会 11月28日 会場：城内中学校 第3学年「健康な生活と疾病の予防」

(6) 第4回研修会 2月下旬開催予定 会場：南魚沼市婦人会館

①全体研修：研養研推進委員会の報告 ②グループ研修及び個人実践集の作成と配布

3 研究の実際

(1) グループ研修

健康課題別の小グループで研修を重ねることで、共通テーマに迫る手立てについて、各校の工夫や実践事例を詳しく共有することができ、自校の実践に活かすことができた。

①不定愁訴：事例を聞き合い、課題を共有化し、対応のあり方について考えの交流ができた。

②むし歯・歯肉炎：顎模型を作成し、視覚支援の必要な児童への指導に役立てることができた。

③生活習慣：発達段階に応じた保健指導の工夫と共有することができた。小中の課題が見えた。

④けが・病気：検討を重ねたアセスメントシートを実際に使用・検討し改善することができた。

(2) 講演会

講師の五十嵐先生からは、最初に心身症の各論として起立性調節障害・リストカット・過換気症候群・摂食障害・不登校等について事例を交えて詳しく話をしていただいた。更に診療で配慮していることとして、子どもは自分の時計を持っていること、親と子は別人格、子どもの言い分や困り感に十分耳を傾けること等を指導していただき、自校での対応に参考になった。

4 成果と課題

グループ研修では各校それぞれのアプローチで実践し、共通テーマに対する具体的な目標値を定め、その目標に迫ればよいというグループ研修そのものの評価に関わる意見が出た。

また、限られた研修時間を有効に活用できるよう、グループの構成を工夫したり、見通しのもてる研修を準備したりしていくことも重要である。